平成 23 年度

音楽学部個別学力検査
（専攻別実技試験等）

課　題　曲

（試験内容及び試験曲）

愛 知 県 立 芸 術 大 学

試験内容及び試験曲

専　攻　実　技

◆作 曲 専 攻（作曲）

⑴　４声体による和声課題（バス課題、ソプラノ課題、バス・ソプラノ混合課題のいずれか一題が課せられます。）……所要時間：３時間

⑵　器楽曲作曲
与えられたモチーフを用い、器楽曲を作曲してください。
なお、長さ、形式、楽器編成は自由（ピアノ使用可）……所要時間：６時間

⑶　上記の課題⑴⑵に関する解説

◆作 曲 専 攻（音楽学）

⑴　音楽に関する基礎的試験（音楽学の学習に必要な理論的な基礎的能力を問う試験）。
……所要時間：論述２時間及び口述試問所要時間

⑵　外国語（英、独、仏から１科目）。解釈の能力を問う試験。……所要時間：１時間

外国語の選択科目は作曲専攻（音楽学）提出用紙に記入し、入学願書の提出書類とともに提出してください。

◆声 楽 専 攻（ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、テノール、バリトン、バス）

●課題曲１曲と自由曲１曲を暗譜で演奏してください。

課題曲：次にあげられた課題選択曲のうち、必ず２つ以上のグループから、合計４曲を選び、曲目提出用紙に記入し入学願書の提出書類とともに提出してください。うち１曲を当日指定します。

a．『イタリア歌曲』グループ

1．	V.Bellini	Ma rendi pur contento	(Ges, As)
2．	A.Caldara	Selve amiche	(a, h)
3．	M.A.Cesti	Intorno all'idol mio	(d, e, f)
4．	F.Durante	Vergin,tutto amor	(h,c,d)
5．	G.Giordani	Caro mio ben	(Des,Es,F)
6．	G.Paisiello	Nel cor più non mi sento	(Es,F,G)
7．	G.B.Pergolesi	Se tu m'ami	(es, f, g)
8．	A.Scarlatti	Già il sole dal Gange	(G, As, B)
9．	A.Scarlatti	Le violette	(G, B, H)
10.	A.Scarlatti	Son tutta duolo	(g, a)

b．『ドイツ歌曲』グループ

11.	L.v.Beethoven	Ich liebe dich	(F, G)
12.	W.A.Mozart	Als Luise die Briefe ihres ungetreuen Liebhabers verbrannte	(c)
13.	F.Schubert	An die Musik	(B,C,D)
14.	F.Schubert	Frühlingsglaube	(F,G,As)
15.	R.Schumann	Die Lotosblume	(Des, Es, F)

c．『日本歌曲』グループ

16.	小松 耕輔	母	(F,As)
17.	中田 章	早春賦	(Es,F)
18.	成田 為三	浜辺の歌	(As) 第１節及び第２節
19.	信時 潔	北秋の“沙羅”より	(D)
20.	山田耕筰	かやの木山の	(D)

○曲目に記入してある各調の楽譜は、本学部に用意してあります。
　大文字は長調、小文字は短調を示します。
○『イタリア古典歌曲』については、基本的に全音版畑中良輔編を使用します。
○時間の都合により、演奏をカットすることがあります。

自由曲：課題曲として提出した４曲以外のもの１曲を提出。（前掲の課題選択曲の中から提出する事も可）

所要時間３分以上の曲については曲の途中でカットします。

歌曲（一般に歌曲として扱われている古典アリアを含む）の場合、いずれの調で演奏しても良いが、オペラ、オラトリオのアリアについては原調とします。歌詞は原則として原語とします。

● F. Wüllner：Chorübungen Ⅰ　No.37 a) ～ No.77 d) の中から１曲を試験の際に指定します。
大阪開成館発行『全訳コールユーブンゲン』信時潔訳を使用します。

提出楽譜についての注意：

１）自由曲伴奏楽譜は、各自必ず提出してください。

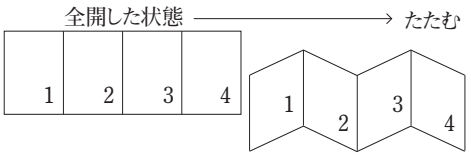
２）課題曲においても本学に用意してある調以外の調で歌う場合は、自分の選んだ調の伴奏楽譜を必ず「入学願書」に添えて提出してください。

３）提出楽譜は、１頁をすべて **A4** の大きさに統一し、**屏風状**に作成してください。
提出楽譜には、伴奏部に添えて必ず歌唱部と歌詞を記入してください。
手書きの場合は、丁寧かつ正確に清書してください。(鉛筆書きの場合は、鮮明にコピーしたものを提出してください)

４）提出楽譜には、１曲ごとに指定された大きさの表紙を付け、「提出楽譜表紙添付票」に必要事項 (氏名、声種も忘れずに) を記入し、それぞれの表紙の左上隅に貼り付けてください。

５）「提出楽譜表紙添付票」が不足する場合は、コピーして使用してください。

以上の規定に反したものは、原則として受け付けません。



◆器 楽 専 攻（ピアノ）

第１次試験

a）J.S.Bach : 平均律クラヴィーア曲集

第 I 巻および第 II 巻より任意の一曲 (プレリュードとフーガ) を選択し、演奏してください。

b）L. v. Beethoven : ピアノソナタ

Op.2 から Op.90 までの任意の１曲を選択し、第１楽章を演奏してください。

ただし、Op.27-1 は Allegro molto e vivace の最後まで (Adagio con espressione の前まで) 演奏してください。

なお、a)、b) 順に演奏してください。

第２次試験

a）F. Chopin : 練習曲

Op.10 から任意の１曲、Op.25 から任意の１曲を選択し、計２曲を準備してください。

いずれか１曲を当日会場にて抽選により指定します。

b）L. v. Beethoven : ピアノソナタ

第１次試験の b) で選択した作品の第２楽章以降を演奏してください。

ただし、Op.27-1 は Adagio con espressione 以降を演奏してください。

なお、a)、b) 順に演奏してください。

○第１次試験、第２次試験ともに

・全曲暗譜で演奏してください。

・時間の都合により演奏をカット、または演奏箇所を指定する場合があります。

・繰り返しなしで演奏してください。（ただし 24 小節以内の繰り返しは自由）

○曲目提出用紙は入学願書の提出書類とともに提出してください。

◆器 楽 専 攻（弦楽器）

器楽専攻（弦楽器）共通事項

繰り返しなし、暗譜で演奏してください。

課題曲・自由曲ともに、伴奏なしで演奏してください。

なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

器楽専攻 (弦楽器) 提出用紙について (入学願書の提出書類とともに提出してください。)

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ受験者は、提出用紙に課題曲 b) の練習曲及び自由曲の作曲者名、曲名を欧文で記入してください。

また、ヴァイオリン受験者は、第 2 志望 (ヴィオラ) の有無にも〇を付けてください。

コントラバス受験者は、楽器借用希望の有無に〇を付けてください。

ハープ受験者は、本学で用意した楽器で演奏しますので提出用紙の記入は不要です。楽器持ち込みは不可です。

ヴァイオリン

（1） 課 題 曲

a ）Carl Flesch：Scale System より

As-dur　No.5　全部

No.6　最初の 4 小節

No.7　最初の 4 小節

No.8　最初の 4 小節

リズムと No. 5 のスラーは、C-dur に準じます。

重音のスラーは四分音符単位とします。

b ）次の 4 つの練習曲集、もしくは同等以上の練習曲集から任意の 1 曲を選択し演奏してください。

J. Dont：24 Etüden und Capricen op.35

P. Rode：24 Capricen

P. Gaviniès：24 Etüden

N. Paganini：24 Capricen op.1

（2） 自 由 曲

任意の Violin Concerto の第 1 楽章、カデンツァを含みます。ただし、次の曲目についてはカデンツァの前までとします。

A. Glazunov：Concerto　a-moll　op.82

N. Paganini：Concerto　D-dur　No.1　op.6

H. Vieuxtemps：Concerto　a-moll　No.5　op.37

ヴィオラ

（１） 課 題 曲

ａ）Carl Flesch：Scale System より

任意の調性　No.5　全部

No.6　最初の４小節

No.7　最初の４小節

No.8　最初の４小節

リズムと No. ５のスラーは、C-dur に準じます。

重音のスラーは四分音符単位とします。

ｂ）Campagnoli：41 Caprices より任意の１曲

（２） 自 由 曲

チェロ

（１） 課 題 曲

ａ）J. Loeb：Gammes et arpèges より

D-dur　イ）４オクターブの音階

ロ）４オクターブの分散３度

ハ）４オクターブのアルペッジョ

スラーは自由とします。

ｂ）次の２つの練習曲集から１曲を選択し演奏してください。

J. L. Duport：The 21 famous Exercises（Etudes）

D. Popper：High school of Celloplaying 40 Etudes op.73

（２） 自 由 曲

コントラバス

（１） 課 題 曲　　a）b）共にオーケストラチューニングで演奏してください。

ａ）Hrabe : 86 Etudes for string bass　より　No.7, Andantino (Carl Fischer 版)

ｂ）V.Pichl : Konzert D-dur より第一楽章 (Hofmeister 版)

オーケストラチューニング C-dur で演奏、カデンツァは含みません。

（２） 自由曲はなし

ハープ

（１） 課 題 曲

ａ）Ed. Larivière：Exercices et Etudes　より No.15、No.16

ｂ）Bochsa : Quarante Etudes Faciles op.318 より No.12、No.16

ｃ）J. L. Dusik : Six Sonatines より Sonatina V

第１楽章のみ繰り返しあり、Tempo di minuette は繰り返しなしで演奏してください。

（２） 自由曲はなし

◆器 楽 専 攻（管打楽器）

器楽専攻（管打楽器）共通事項

伴奏者については、本学で用意します。

第１次

（１） 課題曲

（２） 指定された半音階　暗譜で、休止符のない限り一息で演奏してください。
ただし、打楽器は除きます。

（３） 音階　長調と短調ひとつずつを当日指定します。楽譜を見ないで演奏してください。
ただし、クラリネット、トランペット、打楽器は除きます。

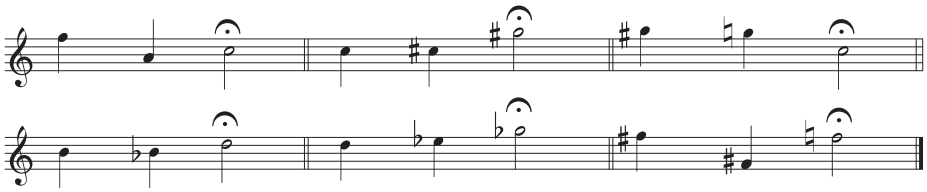
第２次

（１） 課題曲

（２） ディクテーション　（ピアノで与えられた単音を各自の楽器で奏します。打楽器で受験する者はマリンバで奏します。）

問 題 例

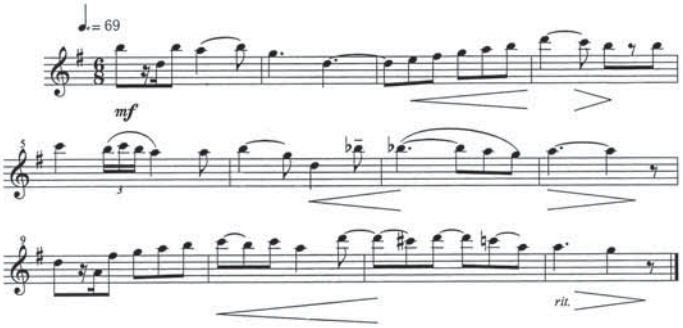
Flute,Oboe



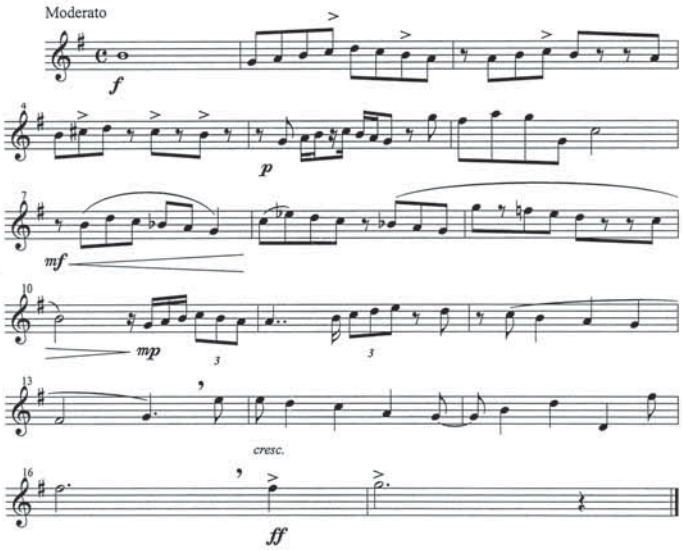
（３） 初　見

問 題 例

Flute,Oboe,
Clarinet,Saxophone



Trumpet in Bb



第１次・第２次課題曲

フルート

第１次

Ernesto Köhler：35 Exercises for FLUTE Op.33 Book 2

12 Medium difficult Exercises より No. １、２、３、５、６、７、８、11の中から

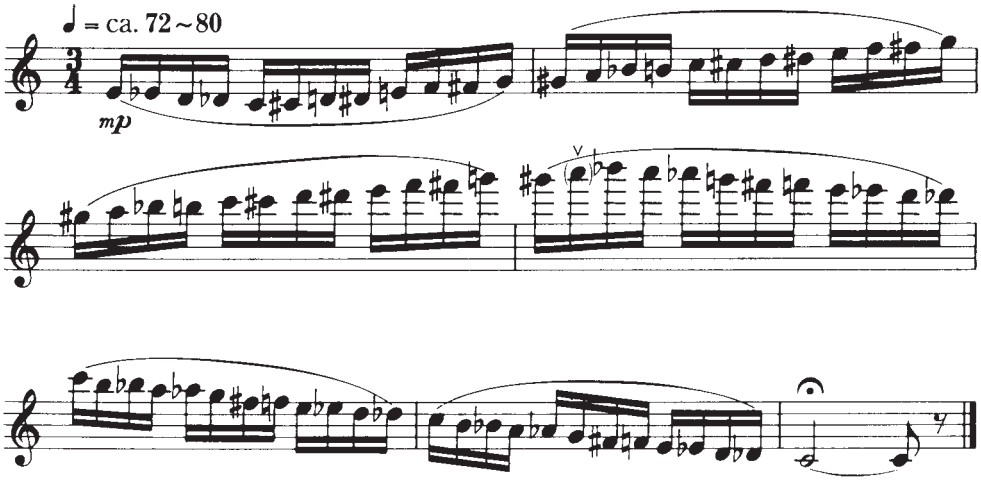
当日指定します。（版の指定はしません）

第２次

W. A. Mozart：Concerto No.2 D-Major K. V. 314 より第１楽章

カデンツァは J. Donjon のものを使用してください。（版の指定はしません）

半音階



オーボエ

第１次

W. Ferling：48 Etudes より

No.13、14、15、16、17、18、19、20 の中から当日指定します。(版の指定はしません)

L. Wiedemann：45 Studies for Oboe(45 Etüden für Oboe)より12、13、16、28の中から当日指定します。（版の指定はしません）

第２次

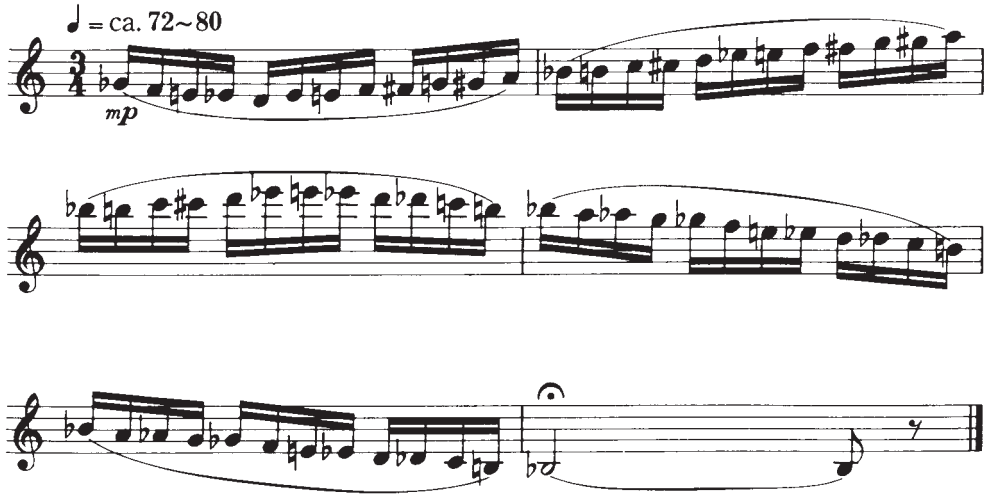
ａ）F. J. Haydn：Concerto より　第１楽章（Breitkopf 版）

ｂ）L.A.Lebrun：Konzert No.1 d-moll für Oboe und Orchester（Schott 版）より
第一楽章(カデンツァなし)

ａ） ｂ）から一曲を選択して演奏してください。

○選択曲目は曲目提出用紙に記入し入学願書の提出書類とともに提出してください。

半音階



クラリネット

第１次

C. Rose：32Etudesより（版の指定はしません）

No.23からNo.32までの中から当日指定します。

Rolf Eichler：Scales for Clarinet（国立音楽大学教育出版部）全部の音階中、No.１の中から当日指定します。

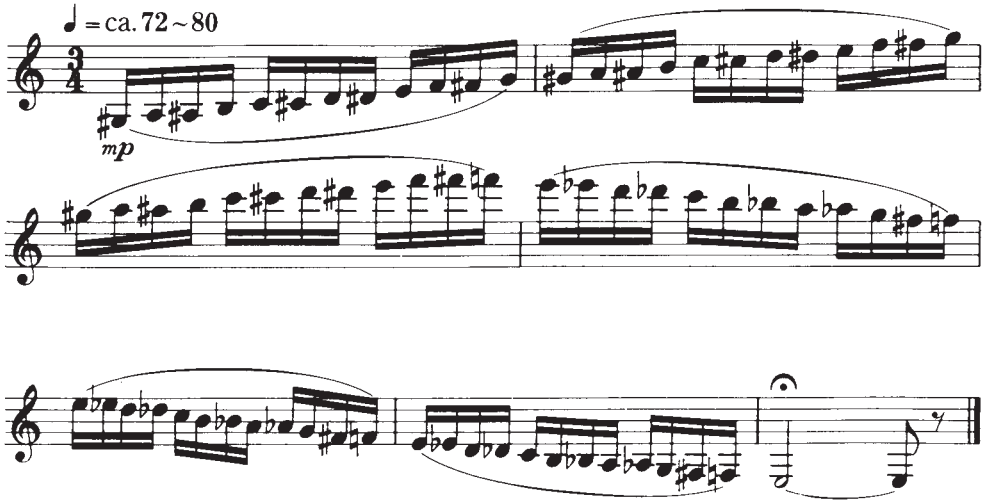
速度 ♩ ＝ ca.80

レガート及びスタッカートで演奏してください。

第２次

F. Krommer：Konzert für Klarinette und Orchester Es-Dur Op.36 より第１、第２楽章（版の指定はしません）

半音階（in B^{b}）



バスーン（ファゴット）

第１次

Julius Weissenborn：50 Bassoon Studies Op.8. Vol. Ⅱより No. 1から No.14の中から

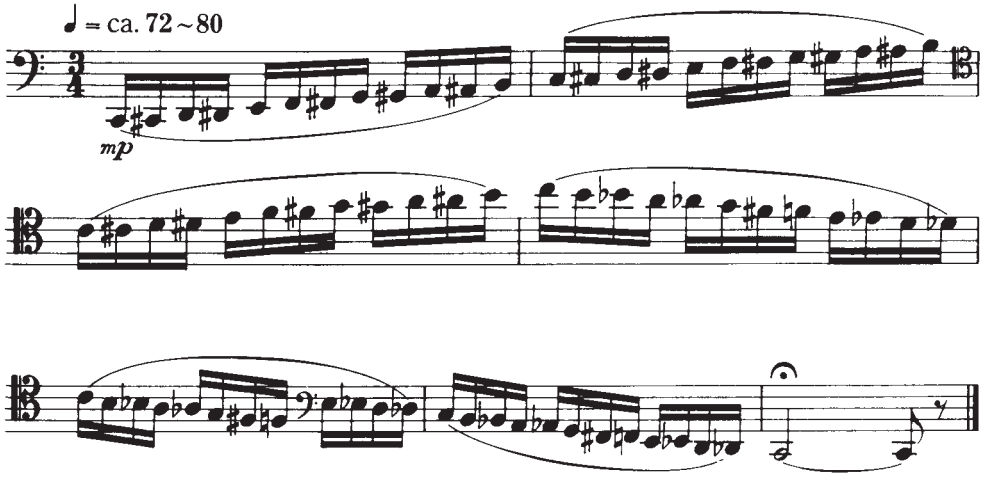
当日指定します。（版の指定はしません）

第２次

Antonio Vivaldi：Concerto in d minor Op.45-No.7.F Ⅷ -5. より第２楽章 ♪ ＝ ca.66）と

第３楽章（ ♩＝ ca.108）（版の指定はしません）

半音階



サクソフォーン

第１次

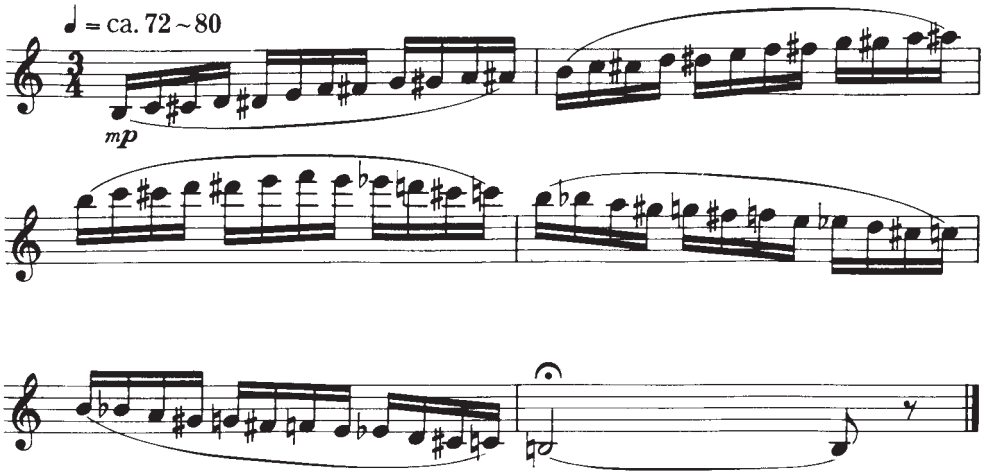
Ferling : 48 Études より No.1、4、5、6、9、11、12、17、18、22、27、28、32、33

の中から当日指定します。(版の指定はしません)

第２次

A. Glazounov : Concerto en Mi♭ Op.109より　冒頭から練習番号16まで

半音階（in E♭）



ホルン

第１次

C. Kopprasch：60 Selected Studies, Book 1

No.15 は必修。No.14、17、18、28 より当日指定します。

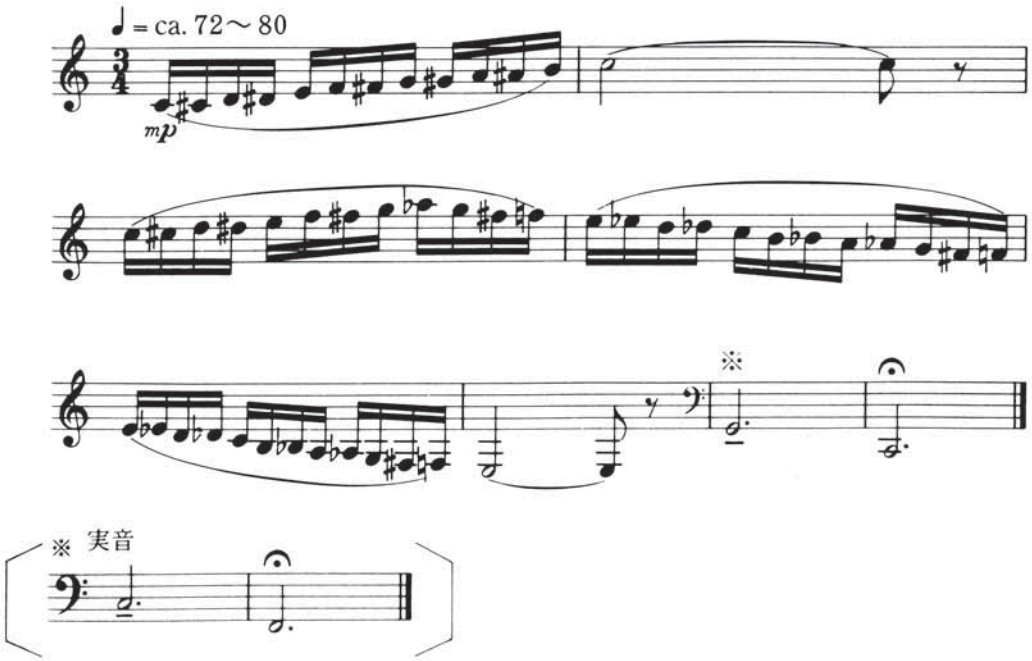
繰り返しなしで演奏してください。Low F, B♭のフルダブルホルンを使用してください。

第２次

W. A. Mozart：Horn Concerto No.3 K. V.447（Breitkopf 版）

第１楽章（カデンツァなし）

半音階（in F）



㊟　ディスカントホルン（ハイＦ管等）を使用しないでください。

トランペット

第１次

１．アーバン : 金管教本「14 の特別な練習」6、7、8、9 より当日指定します。(全音楽譜出版社)

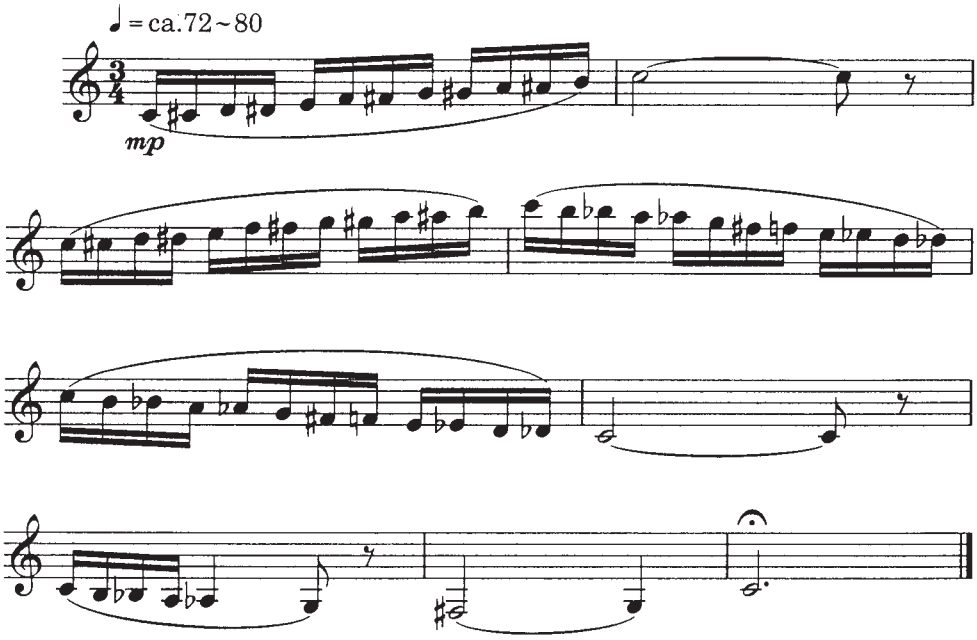
２．Corelli-Fitzgerad : SonataⅧより第１楽章 (Belwin Mills 版)

３．アーバン : 第１巻 65 ～ 81 ページより当日指定します。(ISM Collection 全音楽譜出版社)

第２次

C. Saint-Saëns：Fantasie en mi bémol（Leduc 版）

半音階（in B^{b}）



トロンボーン

第１次

a ）C. Kopprasch：60 Selected Studies for Trombone（C. Fischer 版）Book I

No.13、14、16、20, 23、24、27、31

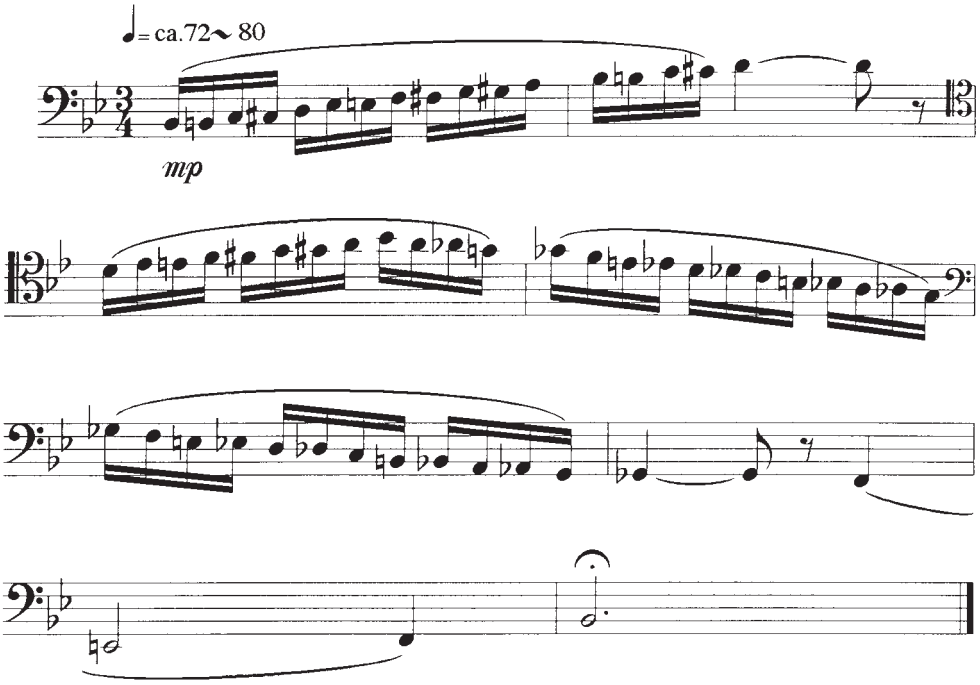
b ）J. Rochut：Melodious Etudes for Trombone（C. Fischer 版）No.14、35、41

a)、 b ）より各１曲を当日指定します。

第２次

C. Saint-Saëns：Cavatina Op.144（版の指定はしません）

半音階



バストロンボーン

第１次

a ）C. Kopprasch：60 Selected Studies for Trombone (C. Fischer 版 ）　No.8、12、14、26

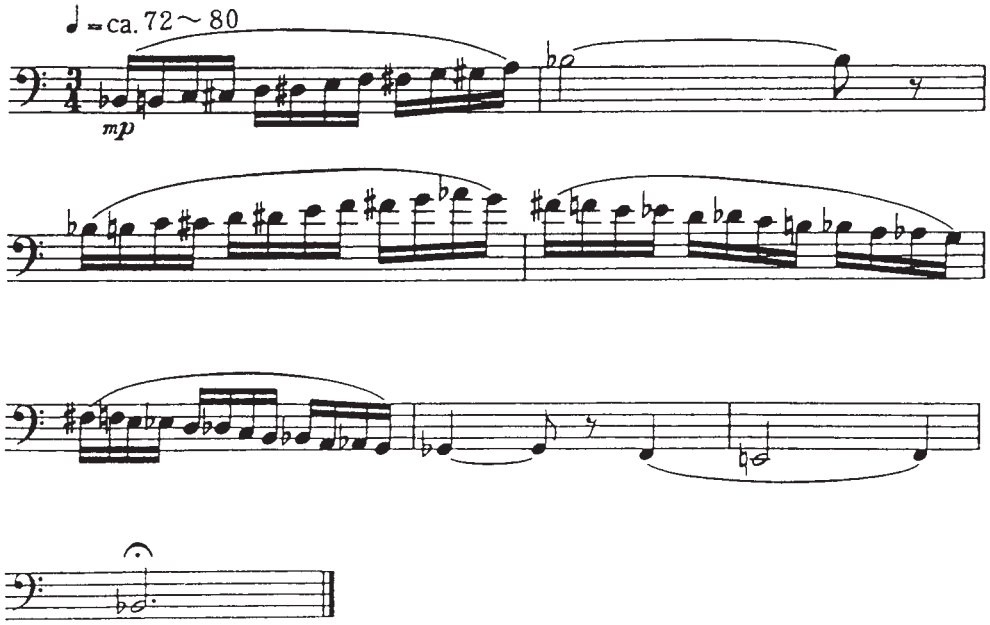
b ）A. Ostrander：Melodious Etudes for Bass Trombone（C. Fischer 版）No.3、18、22

a)、 b ）より各１曲を当日指定します。

第２次

E. Bozza：Allegro et Finale（A. Leduc 版）

半音階



ユーフォニアム

第１次

a ）C. Kopprasch：60 Etudes for Trombone（全音楽譜出版社版）No.22、24、27、31

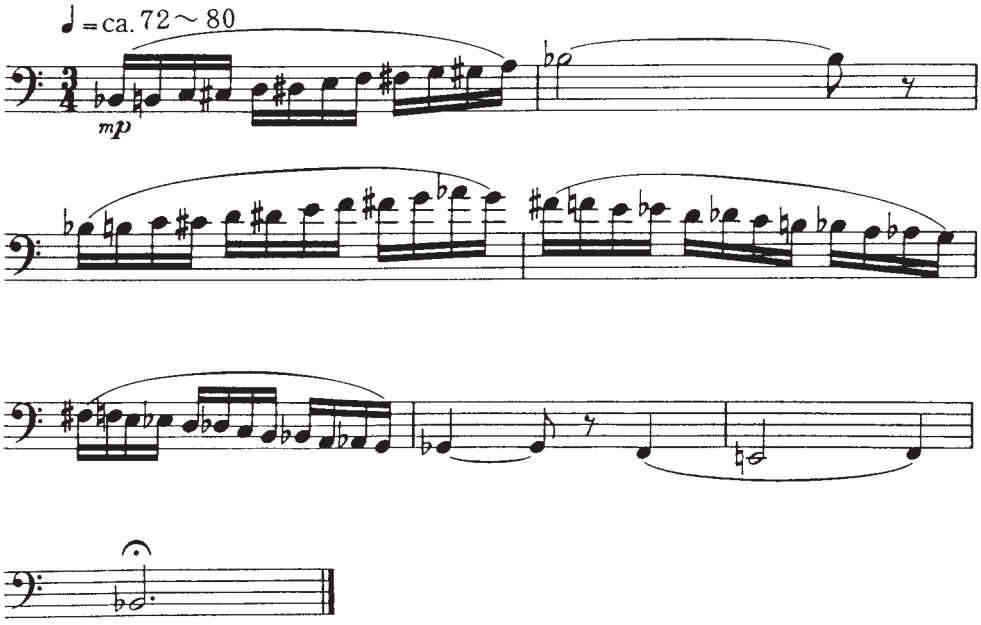
b ）J. Rochut：Melodious Etudes for Trombone (C. Fischer 版)Book Ⅰ No.5、10、12、15

a)、 b ）より各１曲を当日指定します。

第２次

A. Capuzzi：Andante and Rondo (Hinrichsen 版 1474) (Concerto for D. Bass より)Rondo は Ⓓの前まで演奏してください。

半音階



テューバ

第１次

a ）M. Bordogni：43 Bel Canto Studies　No. 7、12、21、28

（Robert King Music Company 版 Music for Brass No.2009）

b ）C. Kopprasch：60 Selected Studies for BBflat Tuba　No.15、18、34、41

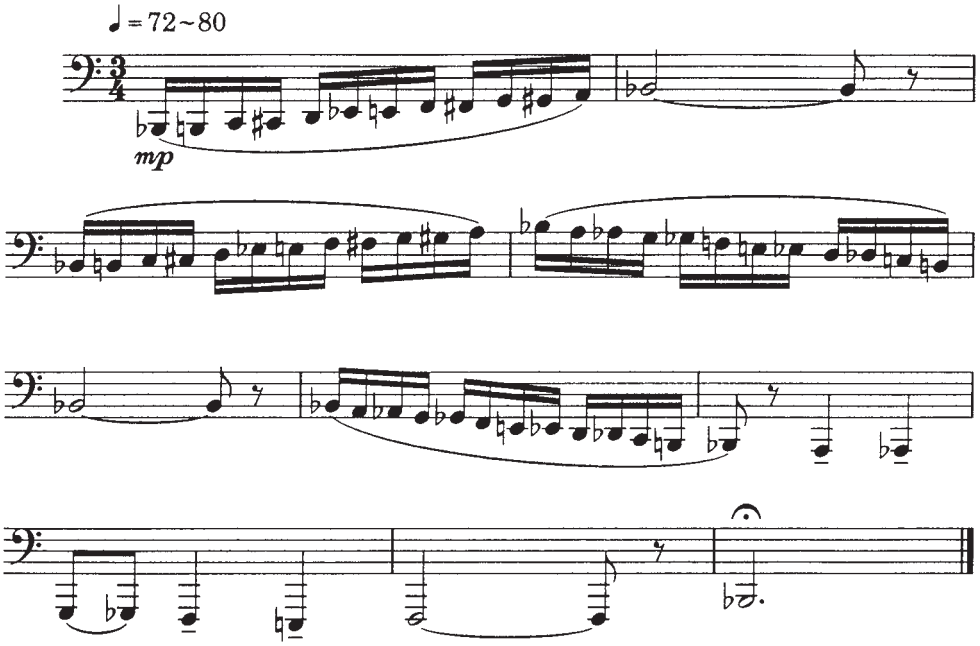
（Robert King Music Company 版 Music for Brass No.278）

a)、 b ）より各１曲を当日指定します。

第２次

J.S.Bach / 編曲 William J.Bell : Air and Bourre (C.Fischer 版 No.W 1647)

半音階



打楽器

a）スネアドラムで受験する者：スネアドラムは各自持参したもので演奏してください。

b）マリンバで受験する者：スネアドラムは本学でも用意しますが、各自持参したもので演奏しても構いません。

a） b）共通：マリンバは本学の楽器を使用してください。

第１次

a）スネアドラムで受験する者

① 楽譜Ⓐをひびき線ありで演奏してください。手順が書かれている場所はそれに従ってください。

② W.F.Ludwig：Collection Drum Solos(Ludwing Drum 版) より
次の A および B を演奏してください。手順は
“The Standard 26 American Drum Rudiments”
(Collection Drum Solos 2 ページおよび 48 ページ参照) に従ってください。
A：Three Camps“Play as a continuous roll and observe accents”(16 ページ)
繰り返しありで演奏してください。
B：Dixie(9 ページ)、Dinner Call(17 ページ)、Rambling Ratamacues(18 ページ)
の中から当日指定します。すべて繰り返しありで演奏してください。

b）マリンバで受験する者

① 音階　すべての長調、短調の中から当日指定します。
（３オクターブ、往復、短調は１回目和声短音階、２回目旋律短音階）
(楽譜Ⓒ)

② Morris Goldenberg：
Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone（Chappell 版）
39 Etudes より 19 番、22 番、25 番、28 番、37 番の中から当日指定します。

③ Clair Omar Musser：Etude Op.11 No.4, Etude in C Op.6 No.10
（Studio 4 Productions 版）より当日指定します。

第２次

a）スネアドラムで受験するもの

① Portraits In Rhythm(Alfred 版)
13 番 繰り返しありで演奏してください。

② マリンバで音階を演奏してください。
すべての長調、短調の中から当日指定します。２オクターブ、往復、短調は
和声短音階（楽譜Ⓑ）

b）マリンバで受験する者

① 下記 A , B より1曲を選択して演奏してください。

A）田中　利光：マリンバのための二章より（音楽之友社）

Ⅰ、Ⅱ（Ⅱは14小節目まで）

B）Gordon Stout：Two Mexican Dances for Marimba

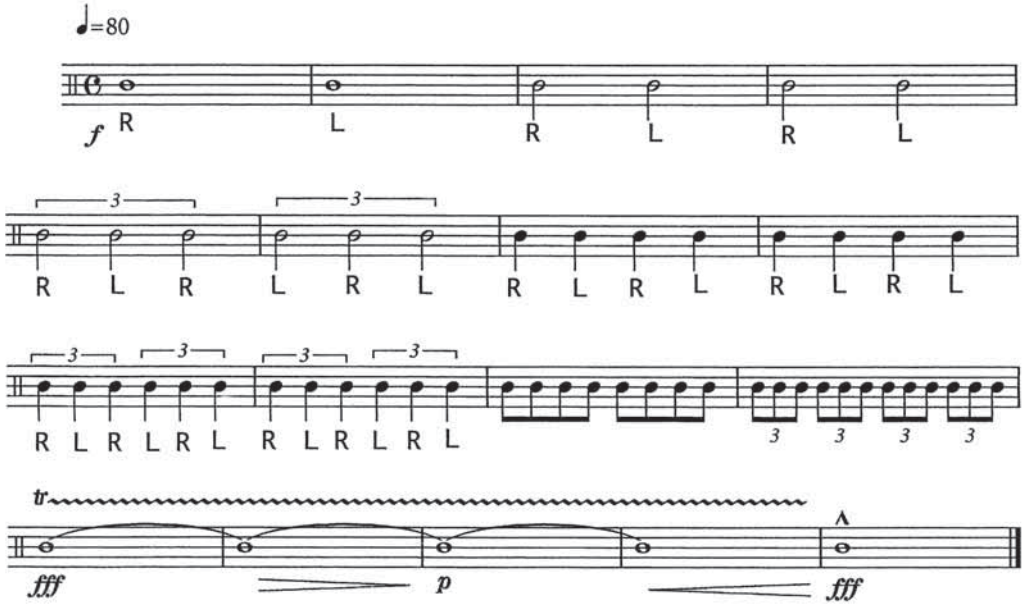
（Studio 4 Productions 版）1，2

演奏楽章は当日指定します。

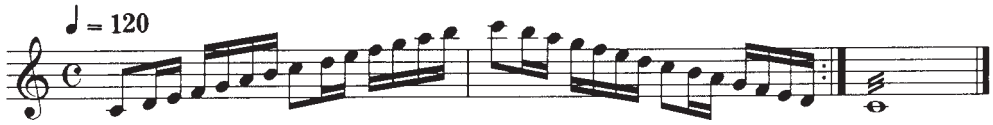
② 1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち（スネアドラムを使用、ひびき線なし）

より当日指定します。

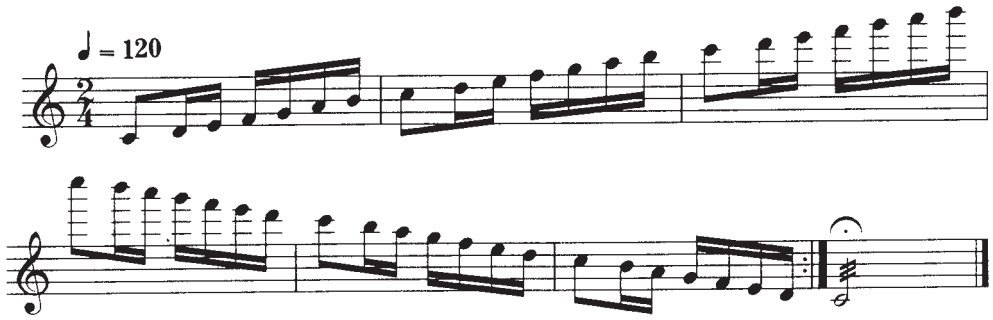
Ⓐ



Ⓑ



Ⓒ



副 科 試 験

ピ　ア　ノ（器楽専攻ピアノコースを除く。）

C. Czerny（チェルニー）：30番練習曲集、40番練習曲集、50番練習曲集より任意の一曲を選択し、繰り返しなし、暗譜で演奏してください。

時間の都合により、演奏をカットする場合があります。

新 曲 視 唱

歌詞をともなわない初見視唱１題

聴　　音

◆作曲専攻（作曲）

（１）　単旋律課題１題

（２）　２声の旋律課題１題（上声は高音部記号により大譜表の上段に、下声は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）

（３）　４声の和声課題１題（Sop. 及び Alt. は高音部記号により大譜表の上段に、Ten. 及び Bass は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）

◆作曲専攻（音楽学コース）、声楽専攻、器楽専攻

（１）　単旋律課題１題

（２）　４声の和声課題１題（Sop. 及び Alt. は高音部記号により大譜表の上段に、Ten. 及び Bass は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）

楽　　典（作曲専攻作曲コース・音楽学コースを除く。）

音楽大学での学習に必要な基礎知識一般 (音程、和音判別及び所属調、調性判別、移調、楽語等)

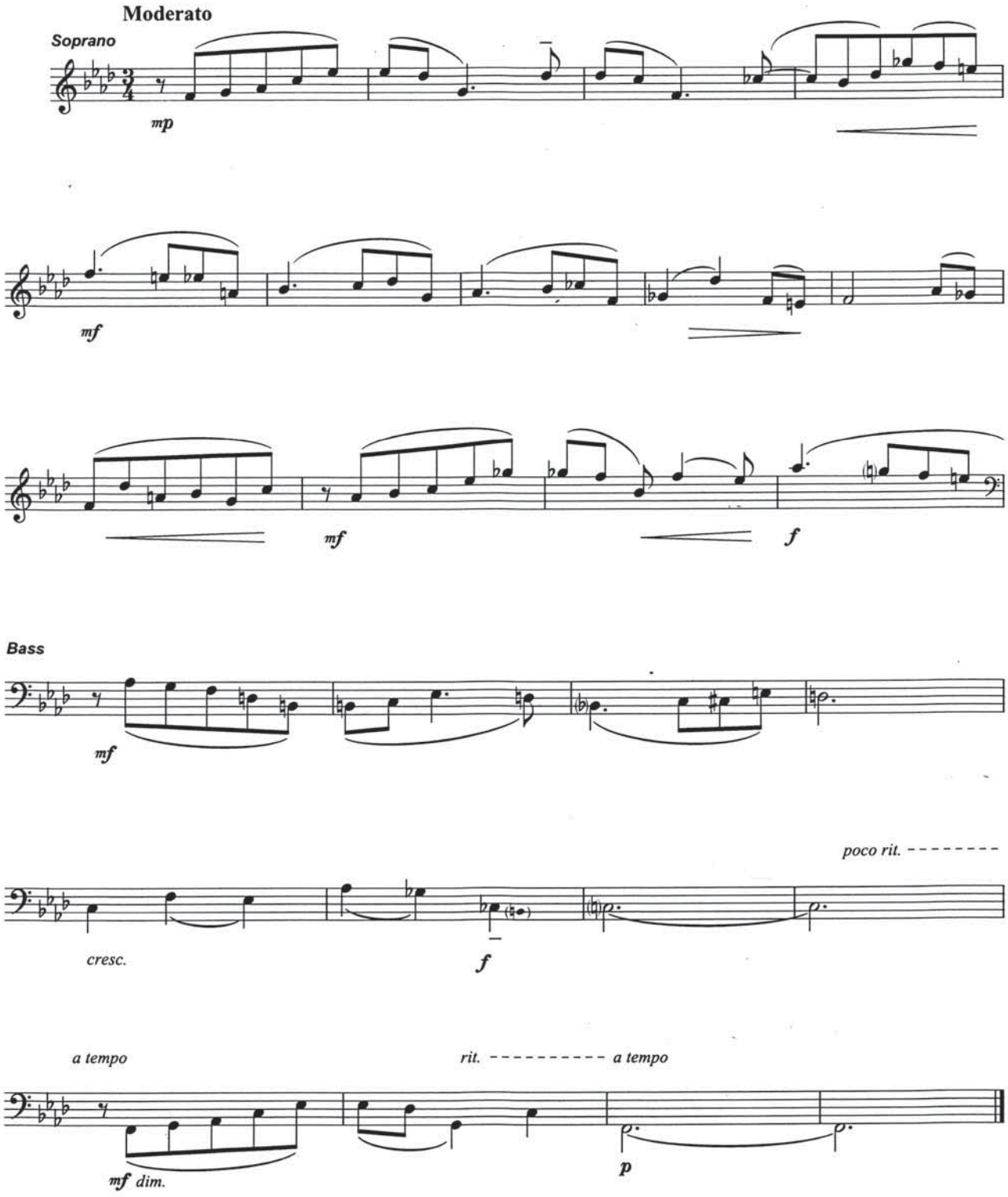
……所要時間：１時間

平成 22 年度愛知県立芸術大学音楽部入学入試問題

作曲専攻（作曲）

Ⅰ　和声課題

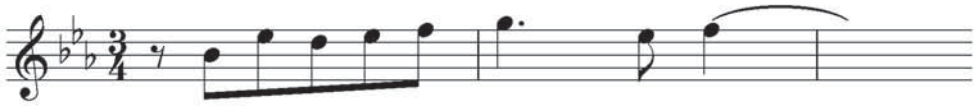
次の和声課題を実施しなさい。



Ⅱ　器楽曲作曲

次の２つのモティーフのうち、どちらかを用い、器楽曲を作曲せよ。

テンポ、強弱、形式および楽器編成は自由。



☆注　音価は自由

作曲専攻（音楽学）

音楽に関する基礎的試験

問題1
課題文の論旨をふまえた上で､｢ピアノにおける身体性と音楽表現の関係」について論じなさい。

出典：チャールズ・ローゼン『ピアノ・ノート ー 演奏家と聴き手のために』
所収(みすず書房、2009年)20～30頁。

問題２
現代音楽の音楽文化からどういう場合に「日本」を感じることができるか論じなさい。

平成 22 年度　愛知県立芸術大学音楽学部入学試験

楽典　問題用紙

Ⅰ．別紙楽譜（J. ハイドン作曲　弦楽四重奏曲　第 73 番　ヘ長調　Op.74-2 より　第 2 楽章　Andante grazioso　ピアノ版）について、以下の設問に答えなさい。

1）①～⑥の音程とその転回音程を答えなさい。（例：長3度）

2）Ⓐ～Ⓗの四角で囲まれた部分を支配する和音の種類を答えなさい。（例：長三和音）

3）下線の上に適当と思われる言葉を下枠の中より選び、番号で答えなさい。但し、同じ言葉を重複して使用してもよい。また、複数の解答が考えられる場合は、いずれか一つを解答すればよい。

J.ハイドンは、時代様式上いわゆるア．＿＿に属する作曲家で、明瞭な形式感をもった作品を数多く残しているが、この曲も典型的なイ．＿＿形式となっている。曲頭の複付点を伴うのびやかなテーマは、主調であるウ．＿＿調のエ．＿＿和音で和声付けされ、明快に開始されている。その後、第 4 小節目にはオ．＿＿終止があらわれるが、旋律的には、ニ→変ホ→ホとカ．＿＿に次の第 5 小節目に連結される。第 6 小節目からはキ．＿＿調が支配的になり、第 8 小節目のク．＿＿終止へと導かれている。第 9 小節目からは、一転して低声部にテーマが移り、ケ．＿＿調に移旋され、コ．＿＿の機能から開始しているうえ、さらに安定した機能を持つサ．＿＿の頻度が減少することにより音楽的に動的な部分となっている。第 16 小節目からは主調の属和音が第 17 小節目からのテーマの再現のために用意されるが、その直前の第 15 小節の第 2 拍目にはシ．＿＿調のス．＿＿和音であるドッペルドミナントが観察される。再現部後半では主調のまま大きなドミナント部が形成され、最終小節ではセ．＿＿上に属七の倚和音があらわれ、第 2 拍目のスタッカート音により軽く優雅に解決し、曲が閉じられている。

1. ハ長　2. ト短　3. ヘ長　4. 変ホ長　5. ハ短　6. 変ロ長　7. ニ短　8. 完全　9. 不完全　10. 半　11. 偽　12. 変　13. サブドミナント　14. トニック　15. ドミナント 16. ドッペルドミナント　17. 主 18. 導　19. 属　20. 下属　21. バロック 22. ロマン派　23. 後期ロマン派　24. 古典派　25. ルネッサンス 26. ロンド　27. ロンドソナタ　28. 三部　29. 二部　30. ソナタ　31. クロマティック　32. ディアトニック 33. ポリフォニック　34. 属音　35. 主音　36. 上主音

4) この曲をテンポ ♩=52 で演奏した場合の演奏時間を答えなさい。但し、秒単位未満は切捨てのこと。またテンポは最後まで一定で変化しないこととする。

Ⅱ. 下記の譜面は、Clarinet in A のために書かれた移調譜です。Horn in F のための楽譜に調号を用いずに(臨時記号で)書き直しなさい。(注:Cl. in A は実音より短3度高く記譜され、Hr. in F は実音より完全5度高く記譜される。)

Ⅲ. 次の音階の上行形を調号を用いずに(臨時記号で)指定された音部記号上に全音符で書きなさい。

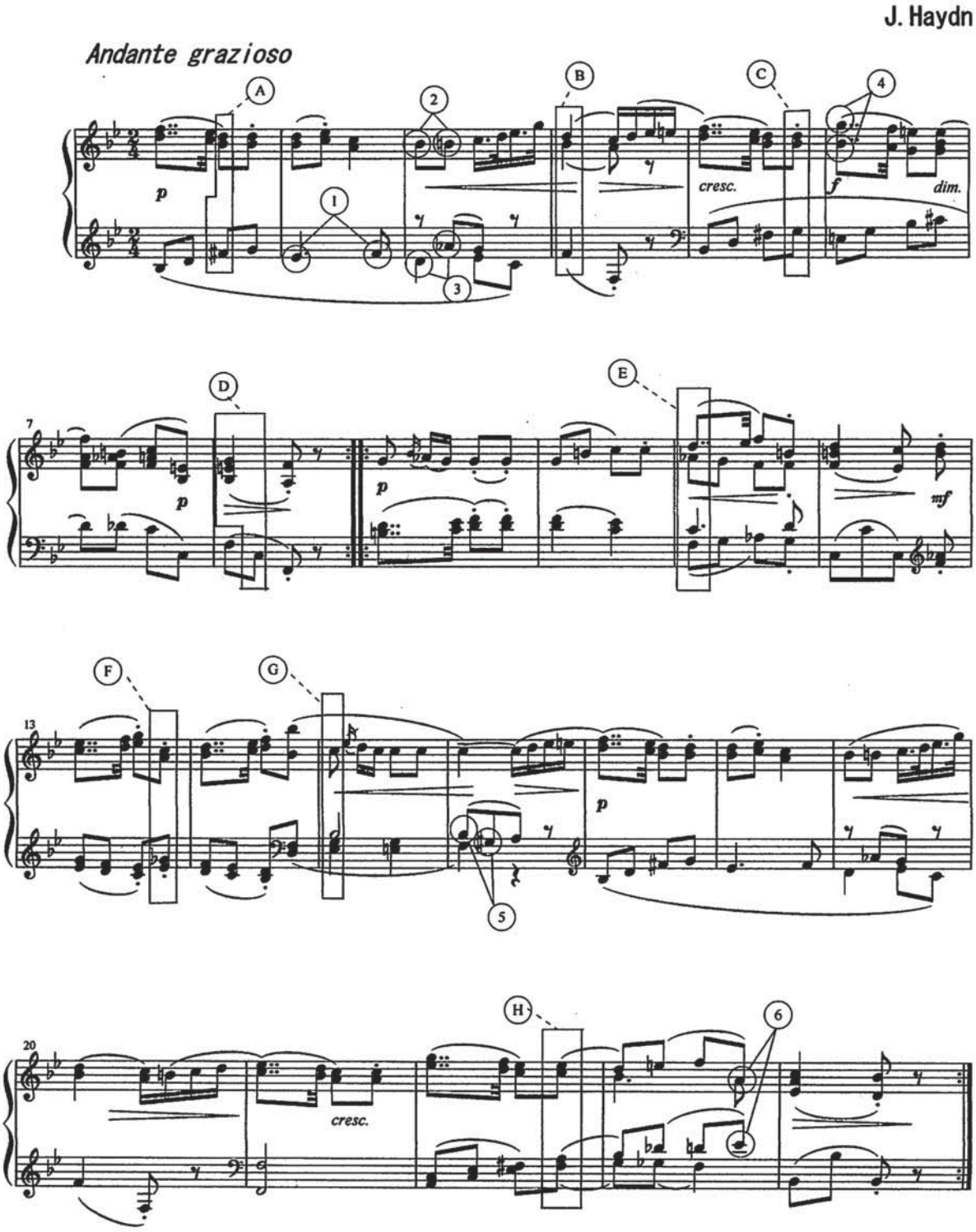
1) イ音を属音とする長音階をテノール譜表上に書きなさい。

2) 変ロ長調の上主音を下属音とする自然短音階をアルト譜表上に書きなさい。

3) 変ト音の異名同音を主音とする和声短音階をバス譜表上に書きなさい。

4) 中世教会旋法のうちニ音をフィナリスとするリディア旋法をソプラノ譜表上に書きなさい。

楽譜


J. Haydn
Andante grazioso
A
B
C
D
E
F
G
H
1
2
3
4
5
6
p
cresc.
f
dim.
mf
7
13
20

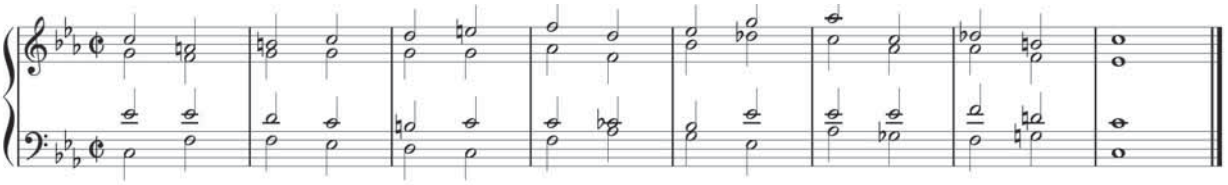
ソルフェージュ

Ⅰ　聴　音（４声体和声）

作曲専攻（作曲）・器楽専攻（ピアノ）

（主音のみを与える。テンポの指示は無し、20 秒間隔で、通奏７回の演奏を行う。
演奏終了後、１分間を与える。）

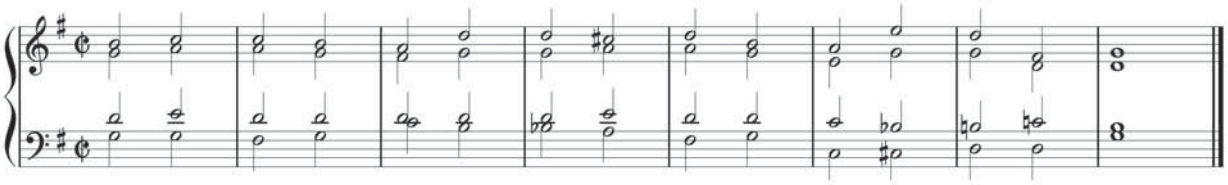
４声



作曲専攻（音楽学）・声楽専攻・器楽専攻（弦楽器・管打楽器）

（主音のみを与える。テンポの指示は無し、20 秒間隔で、通奏７回の演奏を行う。
演奏終了後、１分間を与える。）

４声

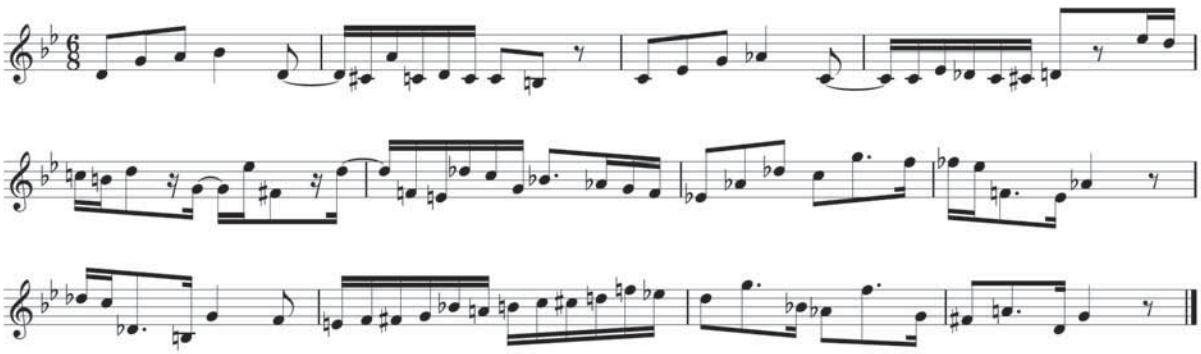


Ⅱ　聴　音（旋律）

作曲専攻（作曲）・器楽専攻（ピアノ）

（主音及び、主和音を与える。テンポの指示は無し、20 秒間隔で、通奏１回の後、４小節毎に４回の演奏を行なう。４回目は次の４小節を続けて演奏し、最後に通奏を１回行う。演奏終了後、１分間を与える。）

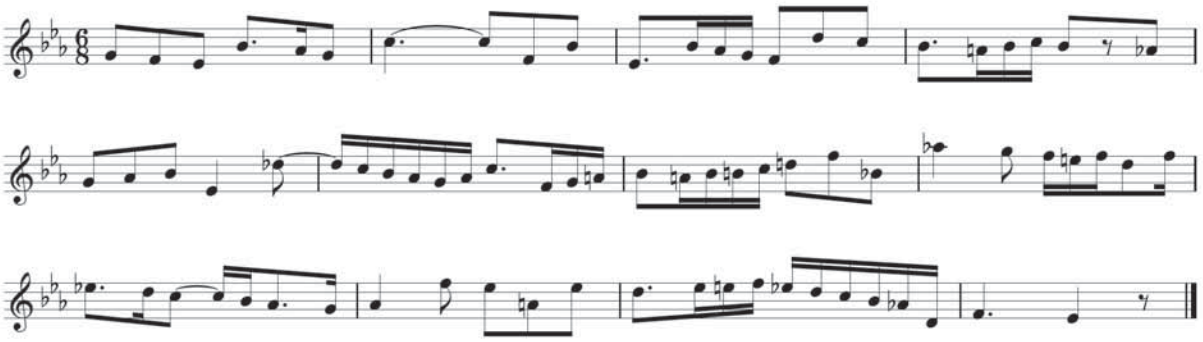
旋律



作曲専攻（音楽学）・声楽専攻・器楽専攻（弦楽器・管打楽器）

（主音及び、主和音を与える。テンポの指示は無し、20 秒間隔で、通奏１回の後、４小節毎に４回の演奏を行なう。４回目は次の４小節を続けて演奏し、最後に通奏を１回行う。演奏終了後、１分間を与える。）

旋律



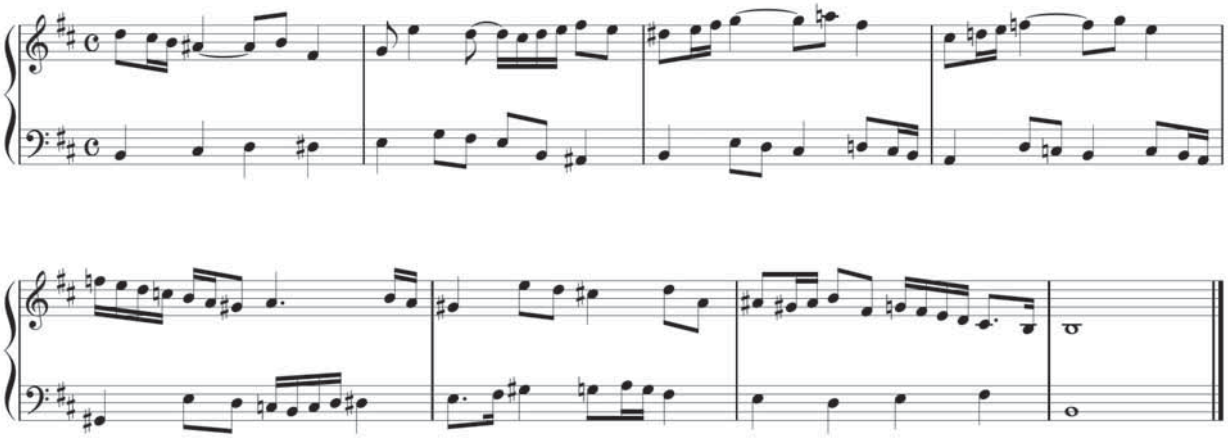
ソルフェージュ

Ⅲ　聴　音（２声）

作曲専攻（作曲）受験生のみに課す。

（主音及び主和音を与える。テンポの指示は無し、20 秒間隔で、通奏７回の演奏を行う。
演奏終了後、１分間を与える。）

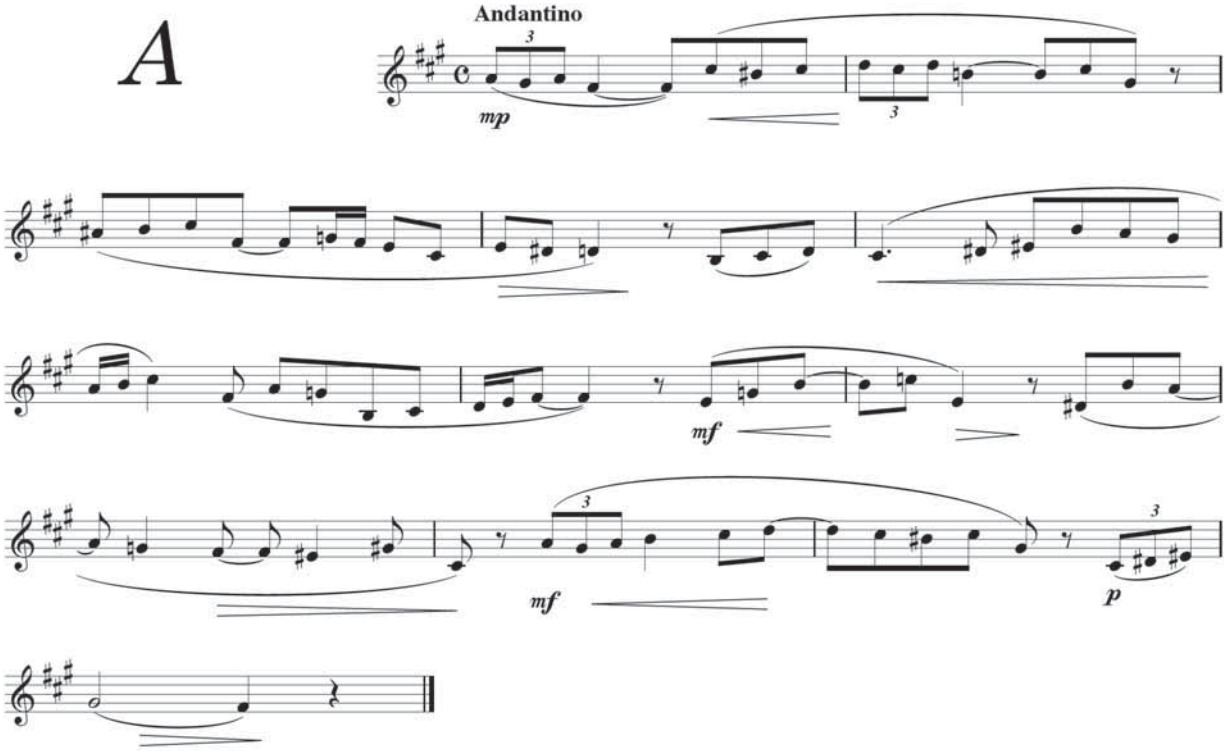
２声

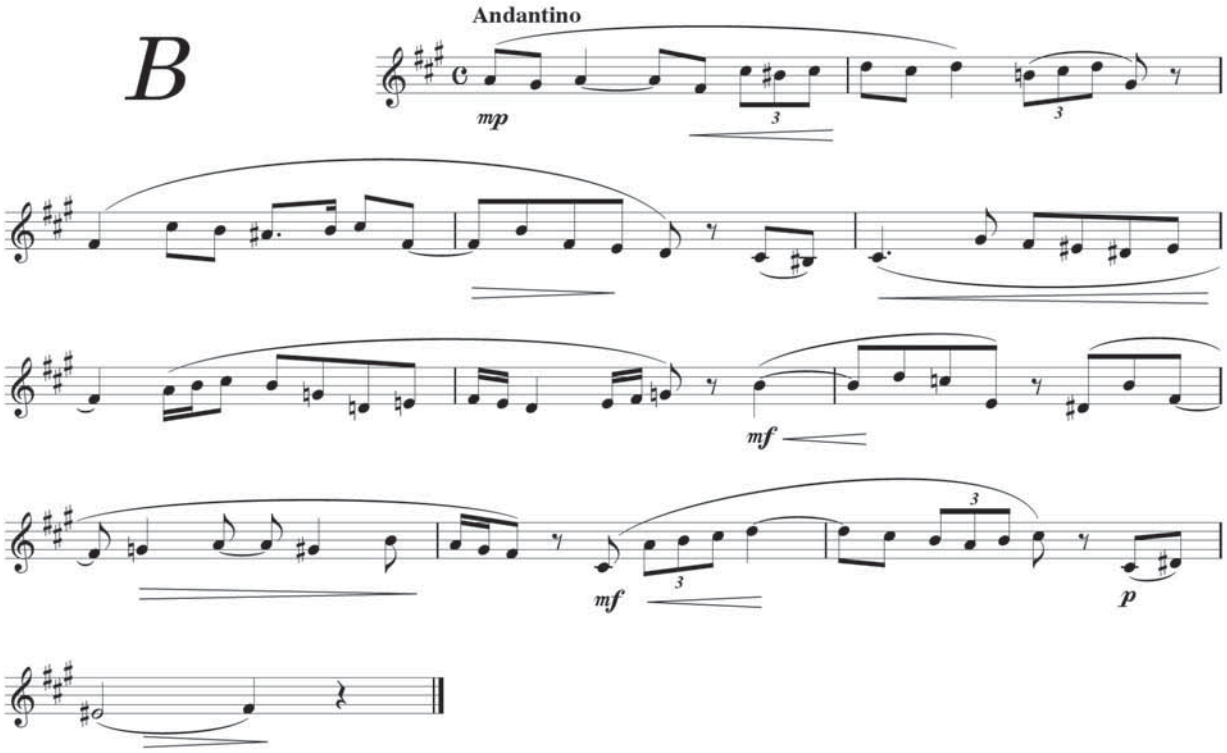


Ⅳ　新 曲 視 唱

作曲専攻（作曲）・器楽専攻（ピアノ）

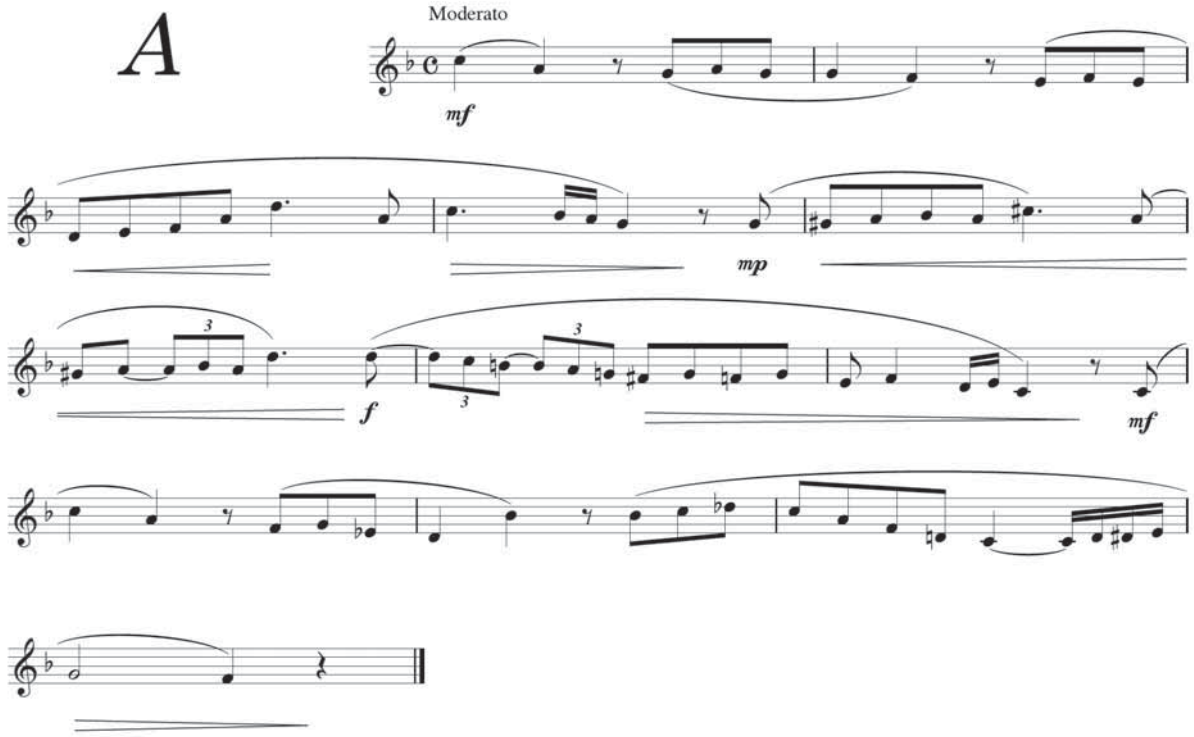
（予見時間は１分 30 秒。主和音及び、開始音を与える。）

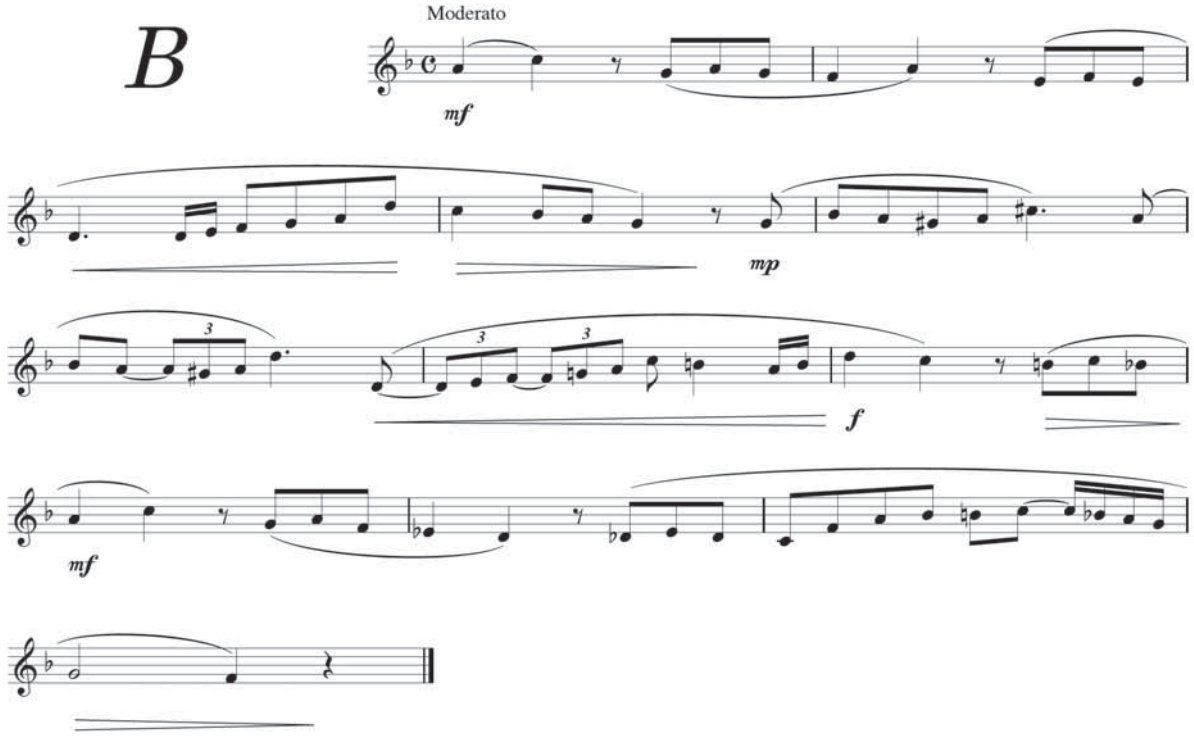




作曲専攻（音楽学)･ 声楽専攻・器楽専攻（弦楽器・管打楽器）

（予見時間は１分 30 秒。主和音及び、開始音を与える。）





ー作曲専攻（音楽学）提出用紙ー

作曲専攻（音楽学）提出用紙	※受験番号	
	選択する外国語1科目を〇で囲むこと	英語　・　独語　・　仏語
	氏名	

※印欄は、記入しないこと。各自必ず控えをとっておくこと。

きりとり線

―声楽専攻提出用紙―

声楽専攻提出楽譜表紙添付票	※受験番号	自　由　曲	
	作曲者名／原語	曲名／原語	調 dur/moll
	例）W.A.Mozart	例）「Le nozze di Figaro 」よりPorgi amor	例）Es dur
	声種	氏名	

※印欄は、記入しないこと。この用紙に記入して自由曲提出楽譜の表紙に貼ってください。

きりとり線

声楽専攻提出楽譜表紙添付票	※受験番号	課　題　曲	
	作曲者名／原語	曲名／原語	調 dur/moll
	声種	氏名	

※印欄は、記入しないこと。

きりとり線

声楽専攻　曲目提出用紙	※受験番号				
	記号	課題曲番号	作曲者名	曲目	調 dur/moll
	A				
	B				
	C				
	D				
	自由曲				
	声種		氏名		

※印欄は、記入しないこと。
試験当日は上記のA～Dの記号により曲目を指定するので、各自必ず控えをとっておくこと。

きりとり線

ー器楽専攻(ピアノ)提出用紙ー

器楽専攻（ピアノ）　曲目提出用紙	※受験番号		
		作曲者名	曲　　目
	演奏曲目〔第1次〕	a)	
		b)	
	演奏曲目〔第2次〕		
	氏名		

※印欄は、記入しないこと。
試験当日は演奏曲目を指定するので、各自必ず控えをとっておくこと。

きりとり線

ー器楽専攻(弦楽器)提出用紙ー

器楽専攻（弦楽器）提出用紙		
	※受験番号	氏名
	課題曲ｂ）及び自由曲記入欄 ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロの受験者のみ記入	
	課題曲ｂ）の練習曲 作曲者名： No.	
	自由曲 作曲者名： 曲名：	
	ヴァイオリン受験者のヴィオラ第2志望	有　・　無
	コントラバス受験者の楽器借用希望	有　・　無

※印欄は、記入しないこと。各自必ず控えをとっておくこと。

きりとり線

ー器楽専攻(オーボエ)提出用紙ー

器楽専攻（オーボエ）曲目提出用紙			
	※受験番号		
	演奏曲目〔第2次〕	作曲者名	曲　目
	氏名		

※印欄は、記入しないこと。
試験当日は演奏曲目を指定するので、各自必ず控えをとっておくこと。

きりとり線

愛知県立芸術大学
学務課

愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ケ峯１の１１４
（郵便番号　480-1194）
電　話〈０５６１〉６２－１１８０（代　表）